

♪ ようこそ！吉野熊野国立公園へ ♪

9月後半に宇久井半島で見られるなかまたち！



「エノキグサ トウダイグサ科」

写真の、穂状になって出た花は全て雄花。雌花は穂の付け根の葉（総苞）に包まれるように咲く。



☆「イヌタデ タデ科」☆

道端で普通に見られる一年草。花序の長さは1～5cmで、小さな花を多数つける。別名「アカノマンマ」



「ツリガネニンジン キキョウ科」

山野の多年草。茎はほぼ分枝せず真っ直ぐ伸び、葉や花を輪生する。若芽は春の山菜として知られる。



「ノアズキ マメ科」

ねじれた様な蝶型の黄色い花をつける。3つの小葉のうちの真ん中は葉先の急に尖った菱形で特徴的。



「カエデコロ ヤマノイモ科」

写真は雄花。花の付いた軸が垂れ下がる。和名は葉の形が楓に似ることからだが、葉形は変異が多い。



☆「タンキリマメ マメ科」☆

つる性の多年草。和名「痰切豆」は種子を食べると痰をとめるという俗説が由来になっている。



☆「ハマオモト ヒガンバナ科」☆

暖地の海岸に生える多年草。種子が灰白色をした海綿質の樹皮に包まれており、水に浮くことができる。



☆「コミカンソウ コミカンソウ科」☆

果実は直径約3mm。葉は左右に規則正しく互生するため、羽状複葉のように見えるが、それぞれ単葉。



「カクレミノ ウコギ科」

写真の黄緑色の果実は熟すと黒紫色になる。木の成長とともに3～5裂に深裂した葉より全縁の葉が増える。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

ようこそ！宇久井ビジターセンターへ！秋の気配が漂い始めました。
園地のお散歩がてら植物の観察もどうぞお楽しみください～

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2026年9月後半号

宇久井ビジターセンター



吉野熊野国立公園 宇久井半島

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



自然観察の森

松尾展望広場

赤灯台

地玉(じこく)の浜

駒ヶ崎灯台

凡例

- 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段

